

飲食店等事業者の皆様へ

カラスにごみを荒らされないために

カラスは自然の中で昆虫類やネズミ、鳥の卵やヒナなどを捕食して生活しています。しかし、近年、都会に住みつくカラスに関して「威嚇された」、「ごみを荒らして不衛生だ」など様々な被害が報告されています。

大阪市におけるカラスの苦情件数

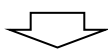
年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
苦情件数	202 件	250 件	299 件	305 件



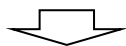
都会にカラスが飛来する要因として次のことが挙げられます。

- ①餌が豊富にある(都会では人の出す生ごみがカラスの餌となります)
- ②天敵に襲われにくい(タカなどの天敵が少ない)
- ③繁殖する場所がある(都会にある緑地の樹木その他、時には電信柱にも巣を作ります)

これらの原因の中でも、最も大きな原因となっているのが①「餌が豊富にある」です。自然の中では、餌の少ない冬場に個体数が減少しますが、都会では常に餌となる生ごみがあるため、冬場でも生活していけるのです。



そこで、カラスによる被害を減らすためには、ごみ対策が非常に重要になってきます。



ごみの出し方次第で、カラスによるごみの散乱を防止することができ、ひいては、営業施設及びその周辺を清潔に保つことにつながります。

住み良い街づくりのために、ごみの減量化やごみ出しマナーの徹底、ごみ出し方法の工夫にご協力ください。

詳しくは裏面をご覧ください。

カラスにごみを荒らされないための対策

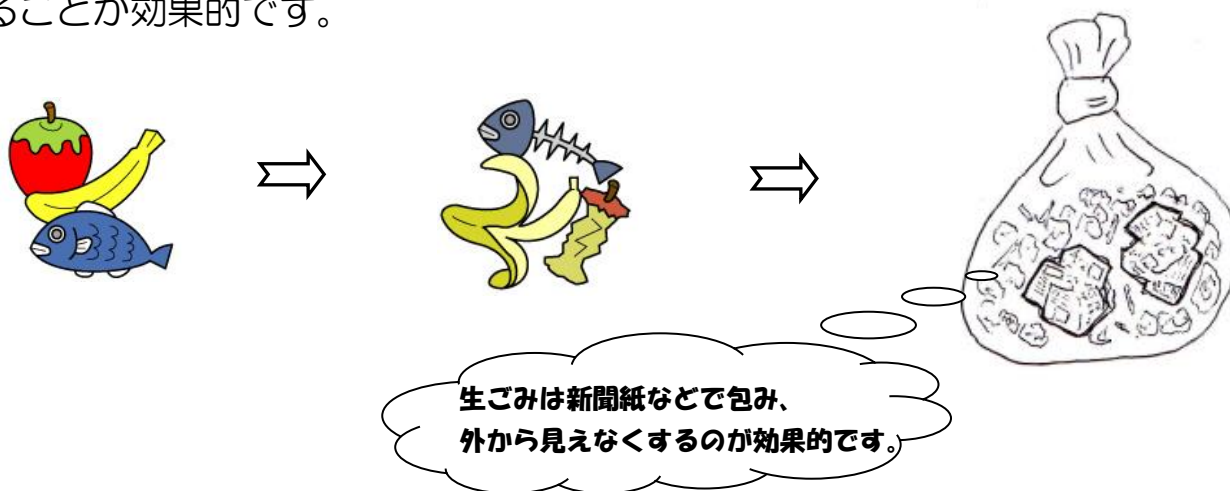
(廃棄物保管場所がない建築物の場合)

■ごみを長時間外に放置しない

ごみを長時間外に置いておくと、カラスが発見される時間を多く与えてしまいます。

■生ごみを見えなくする

カラスは目で食べ物を探しているため、生ごみを出すときは、水分を十分切って、新聞紙などできちんと包むことによって、ごみ袋の外側から生ごみを見えなくすることが効果的です。



〈一部イラスト引用先：<http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/>〉

■カラスネット（ごみ飛散防止ネット）を使用する

カラスネットは、カラスがつつきにくい目の細かいもので、大きさはごみ全体を覆えるものが効果的です。

ネットに重さがないと、カラスがネットの端を持ち上げたり、ひっくり返したりしてごみ袋を荒らしますので、ネットはある程度の重さが必要です。ネットの端に重りや鎖を付けて持ち上げにくくすることも重要です。

ごみ袋の一部がはみ出したり、ネットの上や外にごみ袋を置いたのでは効果がありません。

■箱型ごみステーションを使う

私有地内の設置に限りませんが、ごみを引き出す隙間がなくなるためカラスネット以上の効果が見込めます。折りたたみ式のものもあり、ホームセンターでも販売されています。